

さかど

ロイヤルの園だより

発行

(福)栄光会

さかどロイヤルの園

坂戸市大字森戸739-1

「人と人とのつながり」

一層瑠璃のくんだり

介護職員

私は毎年沖縄旅行で沖縄の友人に会いに行っています。沖縄には埼玉とまた違った魅力があり、透き通った海や魚、暖かい気候、文化や伝統、訪れる度に非日常を感じることが出来ます。

「いちやればちよーでー」という言葉は「存じでしょうか。耳にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。一度会えば皆兄弟」という意味を持ち、一期一会に通じる沖縄の言葉です。初めてその言葉を聞いたのは中学生の時の沖縄旅行でした。人との出会いを大切にするその考え方に心を打たれ、とても素敵な言葉だな、と感じたことを今でもはっきり覚えています。

沖縄の人々が大切にしている人と人との繋がりを重んじる文化や伝統が私は大好きです。旅先で出会う人との何気ない会話や温かい交流は日常では得られない大切な時間となっています。

これからも出会いを大切に、「いちやればちよーでー」の心を忘れず、人との繋がりを大切にしながら生活していきたいと思っています。皆様も是非、沖縄へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

「手芸が繋ぐ温かい時間」

三層浅緑のくんだり

介護職員

最近、専用の針で布に糸を刺していく「パンチニードル」という手芸を始めました。無心で針を動かす時間は心地よく、日々のいい気分転換になっています。

例えば小学生の頃、授業で初めて縫い方を教わった時に手芸の楽しさを知りました。当時は夢中でぬいぐるみ作りに没頭しており、そのころのワクワク感を思い出したことが趣味を再開するきっかけになりました。昨今は自分で縫いものをする機会も減っていますが、今だからこそ手作業の手触りや一つの事に集中する時間を大切にしたいと感じています。

この趣味をはじめてから、職場でも嬉しい変化がありました。「ご入居者に手芸の話をすると、昔は着るものでも何でも縫ったよ。」とお話をしてくださったり、私にアドバイスをしてくださいます。

ご入居者との手芸を通じた日々の関わりの中で、笑顔で楽しそうに話してくださったり、昔を懐かしむ様子もあったり、手芸には皆様にとって思い出深い出来事があるのだと思いました。これからも温かい時間を共有しながら、皆様と共に笑顔で心地よい日々を過ごしていきたいです。

「熱中症対策」

医務室

看護師

令和七年六月より、熱中症対策の義務化が開始しま

した。近年、熱中症による救急搬送者や死亡者が増加していることから、改定が行われました。一定の条件を満たす環境下の中での業務が対象となります。外で作業をする仕事だけでなく、学校での体育の授業や部活動も対象となり、高齢者施設においては主に入浴介助が一定の条件に当てはまることとなります。

夏場での入浴は、介護職員にとって重労働となります。高温多湿の浴室で、衣服を着た状態で一日約十名の方を入浴介助にあたります。

当施設では、熱中症の基礎知識の研修を行い、予防対策・初期対応について学んでいます。職員だけでなく、ご入居者も熱中症対策の対象となります。これから気温は更に上昇していきます。面会に来ていただいた際、お散歩にでられる方もいます。外気温に十分注意を払っていただき、ご家族との時間を楽しんでいただきたいと思います。

こまめに水分・塩分・糖分を摂っていただくことがポイントです。熱中症に効果的な飲料水も販売されています。厚生労働省からも熱中症についての発信が多くされていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

「二層浅緑・瑠璃ユニット アジサイを作ろう」



「犬の思い出」

三層亜麻のくだり

介護職員

我が家には犬が二匹います。他の子より若干丸いチワワと、毛が短くもう歯のほとんどないマルチーズです。

犬というところち走り回るイメージですが、うちの犬は室内犬という事を差し引いても小さい頃からほとんど寝て過ごし、毎晩、特に寒い時期には布団の中に潜り込む等、どちらかというと猫の様な犬達です。

そんな犬達がよく懐いていたのが祖母でした。いつも家について甘やかしていたからか、よく祖母の膝に乗り、鼻歌か子守歌が分らない歌を歌いながら一緒に日向ぼっこをしていました。

祖母がいなくなつてしばらく経った頃、寝ている犬に祖母の真似をして歌をうたつてみると、反応して膝に乗ってきたことがあります。犬もやはり家族の思い出は忘れないのかなと思いました。今も相変わらず寝てばかりの犬達ですが、祖母の夢でも見ているのかなと思うとあのふてぶてしい寝顔さえも可愛く見えるから、不思議なものだと思っています。

「管理組合の仕事を経験して」

四層亜麻のくだり

介護職員

これまで私は、管理組合と言うものをあまり意識せずに生活していました。共有部分の清掃や設備点検など、団地の環境が維持されている事も、どこか当たり前のように感じていたと思います。

そんな中、初めて管理組合の役員を経験することになりました。最初は「自分にできるのだろうか？」と不安もありましたが、実際に関わってみると多くの気づきや学びがありました。

活動を通じて知ったのは、団地が長い間維持されてきた背景には、理事会、組合員、管理会社、それぞれの支え合いがあるということです。建物の管理だけではなく、防災やルール作りなど、様々なことを話し合いながら団地の暮らしが成り立っている事を実感しました。

理事会には、様々な世代や職種の方が参加していましたが、もちろん専門家ばかりではありません。それでも、それぞれの経験や考えを持ち寄り「より良い環境にしたい」と言う思いで話し合いを重ねていました。意見がまとまるまで時間がかかる事もありましたが、その過程も含めて、とても良い経験になりました。

五月三十一日の通常総会をもって、二年間の任期が一区切りとなります。大変なことも多々ありましたが、それ以上に得るものが多く、人との関りや協力することの大切さを改めて感じた二年間でした。また、役員活動が続ける中では、総会や理事会対応などで休みの調整が必要になる場面も多々ありましたが、職場の皆さんにご理解とご協力をいただき、とてもありがたく感じています。

この経験を、これからの仕事や日常生活に活かしていきたいと思っています。

「半年が過ぎて」

二層鵜のくだり

介護職員 渡邊 将仁

こちらに勤め始めて半年が経ちました。久しぶりの特別養護老人ホームでの勤務に最初は不安もありましたが、二層の職員の方々が優しく教えてくださり、困った時には話を聞いてくださったおかげで助かりました。少しずつ

つ環境に慣れていき色々な仕事をさせていただけようになりました。今後は、任された仕事を安定して行うことはもちろんですが、周りの負担を少しでも減らせるような動きや、自分から提案できるような視点を持てるようになりたいと思っています。

少し私自身のこともお伝えすると、趣味は音楽とゲームです。音楽は特に韓国の音楽が好きです。ライブに行くことが大きな楽しみで、それをモチベーションに日々の仕事も頑張っています。日常の中に楽しみを持ちながら働けていることが、自分にとっては良いバランスになっていると感じています。ゲームもその時の気分で色々楽しんでいます。

まだまだ未熟ではありますが、日々の仕事を通して少しずつ成長し、信頼してもらえるように頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

「三層亜麻・鵜ユニット おやつパーティー」

